



事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表



		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			法令を遵守した適切なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			法令で必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	階段（3段）と入り口（1段）に段差があります。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		目標設定の共有を重視して行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			昨年度から実施しております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			当社HPにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現状実施できておりません。今後、第三者機関と連携を行うことも検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		2ヵ月に1度本部研修に参加しています。研修内容を事業所へ持ち帰り、職員へ共有しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者が作成しております。評価前であっても、ニーズ変更や利用者像の変化により更新を行い都度利用者へ報告しております。アセスメントシート・フェイスシートを作成、共有を行っております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			立案前に、スタッフで情報を共有しております。それを元に、プログラムを立案、実施して評価につなげております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			目標達成のための支援はもちろん、学校での学習状況、利用者の身体と心の成長に合わせて計画を再度構築し、それに合わせてプログラムを変更しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>		長期休暇の課題に関しては、休日のイベント内容とかぶることもあるが、季節に応じたイベントを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別・集団活動どちらも計画立てを行っている。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		概ね申し送りを行っています。しかし、日によっては、営業時間前に送迎を行わなければいけない事もあるため、その際の打ち合わせをどうするか検討する必要があります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			各利用者の支援目標に対する評価中心に記入しております。モニタリングの際、それらを参考にし、放課後等デイサービス計画を作成しております。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全利用者に対して一ヵ月毎のモニタリングを行っております。また、相談支援事業所にも共有を行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			アセスメント・フェイスシートを元に、放課後等デイサービス計画を作成しております。長期目標・短期目標にわけ、ニーズと発達状況に合わせた支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加しております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			利用開始前に、学校の教頭先生と利用の旨を連絡しております。利用時は、学校での様子、施設での共有を行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現状問い合わせありません。主治医が、医療従事者でなくても対応可能であると診断があれば、受け入れは検討しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	対象者がいない為、現状保育所などとの連携は行っておりませんが、利用者の把握のために保護者との面談の中で、幼児期の様子の聞き取りを行っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現状該当児童がいません。保護者から、進路の相談を受けた際に、大阪の就労支援施設や、支援学校以外の進路についての情報を提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	外部研修を含めて来年度実施していきたいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	直接的な交流は現状していません。障害を抱える児童にとって、障害のない子どもとの関わりはギャップを感じる場面であり、活動に対しては、慎重に計画立てしていきたいと考えております。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できておりません

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳だけではなく、送迎時に口頭でその日一日の様子や、最近の状態像などを説明しております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	具体的なペアレントトレーニングは発信しておりません。各家庭によって、子育ての悩みは違うため、面談時や送迎時に保護者様の話を聞きながら回答しております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。
護者への説明責任	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談を受けた際、近々で回答できるよう面談の場を設けております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会を望む利用者が殆どいないため、保護者会の開催に関しては現状予定はありません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		速やかに対応するよう心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	ブログや活動チラシにて、利用者の活動内容をお伝えしております。それとは別に、支援目標に対する評価（ご家族向けのモニタリング）を作成する事を検討しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		同意書の取り交わしを行っております。また、個人情報に関する書類は、鍵付の棚に保管しております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		達成目標のための支援はもちろん、学校での学習状況、利用者の身体と心の成長に合わせて計画を再度構築し、それに合わせてプログラムを変更しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施しておりません。今後、利用者の状況に応じて検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	保護者への周知は不十分なので、今後実施していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	今後、定期的な避難訓練を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	現在マニュアルを作成中です。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	自傷、他傷を伴う場合身体拘束を行う場合があるとご家族の方に報告をしております。また、
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。